

# 輝く未来へ、新成人の出発 平成19年伊賀市成人式

1月8日、成人の日に伊賀市文化会館で平成19年伊賀市成人式が行われました。  
今年成人を迎えたのは昭和61年4月2日から昭和62年4月1日生まれの人で、市内では男性597人、女性560人の計1157人。式典には877人が参加しました。  
第1部では、新成人の中学時代の恩師から送られたお祝いのビデオメッセージが上映されました。「これからの人生、恐れずにチャレンジしていきましょう」「中学時代の思い出が皆さんの今後の糧になることを祈っています」など、先生たちは成長した教え子にエールを送りました。  
今岡市長は「若い皆さんは自分だけで判断するのが難しいときもあるでしょうが、自分の置かれた立場で最善を尽くしてください」とあいさつしました。  
安本議長は「大人になれば好きなことばかりでなく、やらねばならないこともたくさんあります。責任のある行動ができる大人になってください」と激励しました。

## ★新成人にインタビュー★

「20歳の節目を迎え、気持ち新たに一步踏み出したい」  
「仕事をしているので、今まで通りがんばりたい」  
「20歳になったのでお酒を飲みたい」  
「これからは就職が控えているので、就職活動にはげみたい」  
「子どものような純粋な心を忘れずに、大人として責任ある行動を心がけたい」  
「市内での就職を考えているので、伊賀市が魅力あるまちになってほしい」  
「建築関係の職業について、お年寄りの住みやすい家をつくりたい」  
「式典のとき、何人か騒いでいたけど、成人として自覚を持ってほしい」



「あきらめからは何も生まれない」

第2部には今年初の試みとして、新成人以外の市民も参加できる「市民大学講座・成人式記念講演会」が行われ、バルセロナオリンピック柔道金メダリストの古賀稔彦さんの講演がありました。

試合に負けてふさぎ込んでいた古賀さんは、その試合をテレビで見たとときに客席に頭を下げて謝る両親を見て「自分は一人じゃない、応援してくれる人たちが喜ばせてい」と強く思い、再び立ち上がった。金メダルを獲得できたという当時の思いを熱く語りました。

古賀さんは「あきらめからは何も生まれない」という言葉を新成人に贈りました。





## ●●● おおやまだ元日マラソン ●●●

1月1日、伊賀の国大山田温泉さるびのをスタートする「おおやまだ元日マラソン」が行われました。

3.5キロと5キロのマラソンコースと2キロのウォーキングコースがあり、およそ400人の参加者は、新年早々さわやかな汗を流しました。

ゴールの後は、洋蘭やしじねんじょなどが当たる抽選会が行われるなど楽しいひとときもありました。



## ●●● 霊山初詣登山大会 ●●●

霊山の山頂で初日の出を見ようと1月1日、霊山初詣登山大会が行われました。

参加者は霊山寺に集合し、山頂を目指して登り始めました。寒さと年末に降った雪が残る中、初日の出を目に焼きつけようと足早に登る人や出会った人に新年のあいさつをしながら登る人、およそ40分の登山道を思い思いに楽しみながら登りました。

山頂に着くとたくさんの人たちが、落ち着かない様子で赤く染まり始めた空を見つめながら、「今年は初日の出が見えるね」「はやく見たいなあ」と午前7時頃の日の出を待ち望んでいました。

山頂から太陽が顔をのぞかせると、参加者は「最近では、めずらしくはっきり見える」「登ってきて良かった」と喜んでいました。

この日、味わった感動と歩き終えた達成感を胸に新年をスタートさせました。



## ●●● 地域を語り、地域を遺す KNS collaboration 伊賀 2007 ●●●



▲分科会の様子

関西圏の活性化を目的に設立された関西ネットワークシステム（KNS）と連携し、今後の地域づくりのあり方を考える研究交流会が1月13日、市内ホテルで行われ、およそ150人が参加しました。

フォーラムでは、塩ビ工業・環境協会専務理事の西出徹雄さんと地方独立行政法人岩手県工業技術センター副理事長の小山康文さんの基調講演があり、西出さんは小学生の起業家体験などの取り組みについて「地域で新しいことに挑戦するということが大事である」と語り、小山さんは「産学官連携には人的ネットワークや公設試験研究機関の果たす役割が重要である」と語りました。

講演の後は、産業クラスター・まちづくり・循環型社会の3つの研究会に分かれて報告がありました。産業クラスター研究会では伊賀市産業振興部長が中心市街地の活性化など、市の取り組みを発表しました。

翌日14日は、伊賀上野町家みらいセンターの会長の和田さんと事務局長の滝井さんの案内で市街地のまちあるきが行われました。

およそ50人の参加者は、上野公園をスタートし、伊賀上野町家みらいセンターや栄楽館、入交家住宅などを散策しました。

市外の参加者から「城下町のまちなみがよく残っている。市と地域が一带となって保存に取り組んでいる」などの意見がありました。

▼まちあるきの様子

